



帯山小学校だより

No.12 R6.1.9 文責 校長 西方 浩一

今年もよろしくお祈いします。

いよいよ今日から3学期が始まりました。冬休みは、いかがでしたか。2学期の終業式で「自分や友達、家族の命を大切に！自分の命は自分で守る。」ことを教頭先生から伝えてもらいましたが、年明け早々の能登半島地震、そして、航空機の事故など命の尊さを考えさせられました。お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表します。



さて、3学期には、授業参観や送別遠足、そして、卒業式と1年のまとめとなる行事がたくさん予定されています。そのような教育活動の中で「愛（あい）のある子どもが主役の学校」にしていきたいと思ひます。目標の達成には、保護者や地域の皆様のご協力が欠かせません。子どもを中心に、家庭・地域・学校が一体となり、帯っ子を育んでいきましょう。今年もよろしくお祈いいたします。

心も体もたくましい帯っ子に



本日の始業式の校長講話では、まず、冬休み前に約束した、①道路に飛び出さない、②お金の使い方を考える、③火事に気を付ける、ことを守ることができたか振り返りました。今のところ、本校児童の大きな事件や事故の話は聞いておりませんので、ほっとしているところですよ。何かございましたら、学校にご連絡ください。

その後、原点回帰し、帯山小学校の校訓「なかよく かしこく たくましく」を確認しました。その中でも、今年、昨年までの反省を生かして「たくましく」を頑張っしてほしいと子どもたちに呼びかけました。

まずは、「体を鍛える」。例えば、一日1回は外で遊ぶ、好き嫌いをせずに三食きちんと摂る、特別な理由がなければ学校には歩いて来る、などです。

次に、「心を鍛える」。例えば、笑顔で挨拶する、掃除を頑張る、時間を守る、ボランティアなど人のためになることを続ける、などです。

子どもたちも、時には「今日は、何だか学校に行きたくないな…」という日もあるでしょう。しかし、先生や友達が待っています。そう思っ、たくましく乗り越えてほしい、そう思ひます。

もちろん、「いじめは絶対にダメ」です。仲間から外す、叩く蹴る、持ち物を隠す、悪口を言う、無視するなど。こういうことがあると、たくましく頑張ろうと思っても頑張る力がわいてこなくなります。

心の体もたくましい帯っ子に、真面目に頑張る人や努力する人が損をしない帯山小学校にみんなの力でしていきましょう。

※今週末1月14日（日）に、本校運動場でどんとやが5年ぶりに開催されます。午前10時集合、午前11時点火予定です。みんなで無病息災を祈りましょう。